

第11回書道パフォーマンス甲子園 (全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会) 本戦審査基準

(1) 審査員

- (一) 審査は主催者が委託した8名程度の審査員が採点・評価を行う。
- (二) 内1名に審査員長を委嘱し、審査員長が最終順位決定権を持つ。

(2) 審査基準及び得点

- (一) 本戦は8名程度の審査員がそれぞれ、書道部門、パフォーマンス部門に分かれて審査を行う。
- (二) 書道部門とパフォーマンス部門の審査員数は同数とする。
- (三) 書道部門の審査員は、①書の美、②紙面構成、③用筆の正確さ、④独創性、⑤総合の各項目を審査し、パフォーマンス部門の審査員は①所作の美、②演技構成、③身体表現力、④独創性、⑤総合の評価項目を審査する。
- (四) 各審査員の持ち点、評価項目の評価ポイントは下表の通りとし、合計得点が最も高い高校を優勝とする。
- (五) 合計得点が同点の場合、審査員長の得点が高い高校を上位とする。
- (六) 合計得点が同点かつ審査員長の得点が高同点の場合、審査員長が順位を決定する。
- (七) 審査員欠席などにより書道部門とパフォーマンス部門の審査員数が同数とならなかった場合、人数が少ない部門の平均得点に人数が多い部門の審査員数を乗じた数を当該部門の合計得点とし、得点を調整する。

【審査員の担当項目及び持ち点】

審査員	書の評価			パフォーマンスの評価			共通評価		合計
	書の美	紙面構成	用筆の正確さ	所作の美	演技構成	身体表現力	独創性	総合	
書道部門A	10	10	10				10	10	50
書道部門B	10	10	10				10	10	50
書道部門C	10	10	10				10	10	50
書道部門D	10	10	10				10	10	50
P部門A				10	10	10	10	10	50
P部門B				10	10	10	10	10	50
P部門C				10	10	10	10	10	50
P部門D				10	10	10	10	10	50
合計	40	40	40	40	40	40	80	80	400

【評価項目と評価ポイント】

評価軸	評価項目	配点	評価ポイント
書の評価	書の美	10点	書の実しさ、文字表現の実しさ、色彩の実しさ、選択した言葉の評価
	紙面構成	10点	行の流れや紙面全体のバランス、一体感の評価
	用筆の正確さ	10点	用筆の正確さ、運筆の巧みさの評価
パフォーマンスの評価	所作の実しさ	10点	書く姿の実しさの評価
	演技構成	10点	演技のストーリー性や組み立て、チーム全体の一体感の評価
	身体表現力	10点	表情もふくめ、パフォーマンス、身体での表現度の評価
共通評価	独創性	10点	新しい挑戦や工夫の評価
	総合	10点	書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価

(3) 得点の公表

- (一) 大会終了後、本戦出場校に各学校の校名記述の上、総得点、順位、講評の記載した一覧表を送付する。
- (二) 一般へは入賞校の学校名、総得点及び講評のみを公式HPにて公開する。